

ちむ美らさ

第71号
 発行：北部農林水産振興センター
 農業改良普及課
 沖縄県名護市大南1-13-11
 電話：0980-52-2752
 FAX：0980-51-1013

さとうきびの水管理

6月11日に沖縄气象台が梅雨明けしたとみられると発表しました。1951年の観測以来5番目に早く、梅雨の期間が22日間で、過去3番目に短くなっています。これからが沖縄の夏本番！さとうきびがぐんぐん生長する生育旺盛期ですが、雨不足による干ばつが懸念されます。今回はかん水対策の方法や効果についてご紹介します。

目次

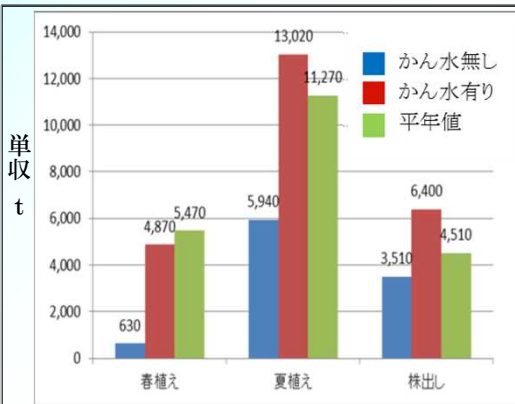
- 1P さとうきび水管理
- 2P キクの台風対策
野菜の台風対策
- 3P 果樹(マンゴー、パイン
カンキツ)の台風対策
- 4P かんしょの台風対策
ソウムシ類防除

かん水の方法

※下記のほか、動力噴霧機や、点滴チューブによるかん水の事例があります。



かん水の効果



かん水によるさとうきび収穫量に与える影響

		単位: kg		
作型	かん水無し	かん水有り	平年値	
春植え	630	4,870	5,470	
夏植え	5,940	13,020	11,270	
株出し	3,510	6,400	4,510	

※農業研究センター試験成績

かん水量の目標

	ジャーガル	島尻マージ 国頭マージ
植付期	40mm	30~35mm
発芽期	25mm	15~20mm
分けつ期	30mm	20~25mm
生育旺盛期	40mm	35~40mm
間断日数	9日	7~8日

※ 水源やかん水にかかる各種助成等につきましては、JA、市町村、北部さとうきび協議会へお問い合わせください。

(担当: 川之上)

これから台風シーズンです。防風ネットを利用した防風対策など台風襲来前の事前対策、付着した塩分の洗い流しなどの台風通過後の事後対策をしっかりと行いましょう！

【キクの台風対策】

防風ネットのべたがけ



防風ネットの浮き上げ



防風ネット端の固定



台風通過後のかん水



停電に備えた動噴の準備



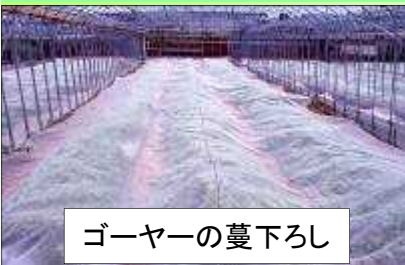
重しによるマルチ飛散防止



(担当: 上田)

【野菜の台風対策】

ゴーヤーの蔓下ろし



スイカのじかがけ



葉菜類のうきがけ



ヘチマのじかがけ



オクラの切り戻し



オクラのじかがけ



ネット被覆の際には、ネットがめくり上げられないよう、しっかりと固定してください。

台風通過後は、すぐに以下ことを行ってください。

※塩害対策と草勢回復のために・・・

- ・株全体を水で流す。または登録のある殺菌剤を散布する。
- ・薄めの液肥やアミノ酸入り液肥を用いて、葉面散布を行う。(担当: 新里)

【マンゴーの台風対策】

○事前対策

- (1)強化型ハウス等は、内側にもネットを設置すると、防風効果が高いです。(写真)
ただし、パイプハウス等、ハウスへの負担が大き
い場合は、ネットの張り方を工夫する必要があります。
- (2)台風通過後には、速やかに殺菌剤を散布し、
病害防除に努めましょう。また、収穫終了後の園
地については、台風接近前にICボルドーを散布し、
台風後の病害予防に努めましょう。



- (3)台風通過後に塩害の恐れがある場合には、6時間以内に散水して除塩作業
を行いましょ。停電に備え散水用の水をタンクに貯めておきましょう。

(担当:長浜)

【パインアップルの台風対策】



- (1)植付後の台風対策として日焼け防止ネット等を
べたがけし、鉄筋等で周囲を抑えましょ。
- (2)台風通過後は植え付け苗の芯部に入った土を殺
菌剤で除去しましょ。
- (3)台風通過後、めくれた日除ネットは早急に直し、
日焼け対策を行いましょ。
- (4)苗の損傷が激しい場合は植替えや補植を行いま
しょ。

(担当:嘉手苺)

【カンキツの台風対策】

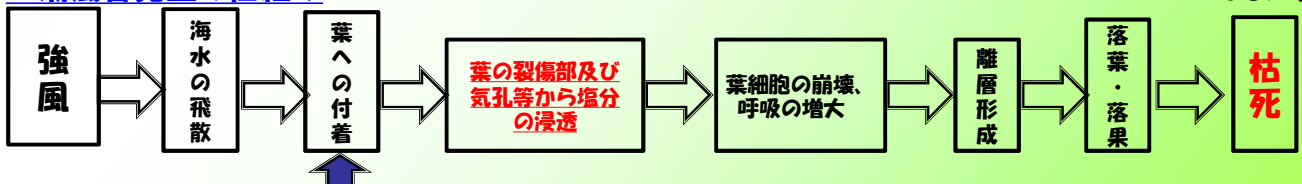
○事前対策

- (1)高接ぎ園については新梢を支柱、竹等で固定し、枝の折損防止に努めましょ。
- (2)台風後の病害発生を防止するため、台風接近前に品目に応じた使用可能な殺菌剤を散布
し、予防に努めましょ。
- (3)大雨に備えて排水が不十分なほ場の排水対策を行っておきましょ。

○事後対策

- (1)潮風害の発生の恐れがある園地については、台風通過後6時間以内にスプリンクラー、灌
水用ホース等を利用し、10a当たり2~3tを目安に樹体を洗い流し、塩分除去に努めま
しょ。
- (2)台風後の病害の拡大を防止するため、品目に応じた使用可能な殺菌剤を散布し、被害軽
減に努めましょ。

*潮風害発生の仕組み



被害の
ひどい時

葉および樹体への浸透を防ぐためにこの時点で塩分を洗い流すことが重要です

(担当:平松)

かんしょの台風対策について



台風被害による株の枯死

• 植え付け後、台風にあたると、苗が飛ばされたり、茎が折れる、根が回されるなどの被害を受け、欠株が発生する場合があります。



U字やJ字鉄筋などでネットを固定する



左：台風対策無し 右：対策あり

• 十分に繁茂する(植え付け後1ヶ月程度)まではネットでじか掛けし、台風対策を行いましょう。また、台風通過後は、すみやかにネットを外しましょう。

• 台風のあとは塩害が発生する恐れがあります。スプリンクラーなどで散水し、塩分を洗い流しましょう。



かんしょのゾウムシ類防除をしっかり行い、イリムサーのないイモをつくりましょう。

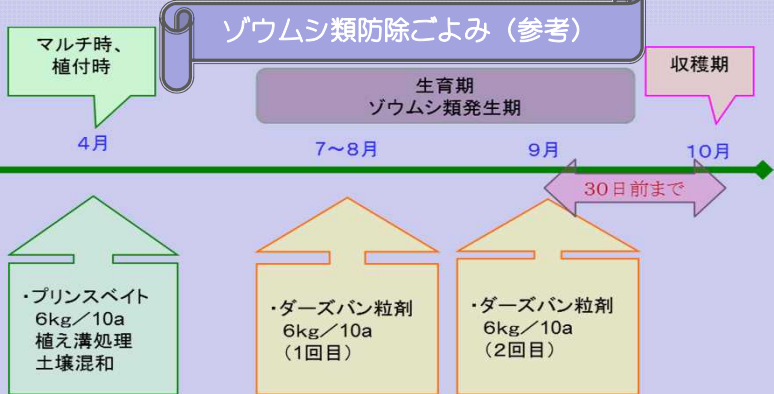
農薬による防除について



- ↑ プリンズペイト
- ・6kg/10a
- ・植付け時
- ・植え溝処理
- ・使用回数1回



- ↑ ダズバン粒剤
- ・6kg/10a
- ・収穫30日前まで
- ・株元散布
- ・使用回数2回まで



※ 防除を保証するものではありません。虫密度や環境等により効果が変動する場合があります。

! これまでかんしょの害虫防除に使用してきたカルボスルファン剤(ガゼット粒剤、アドバンテージ粒剤、アドバンテージS粒剤)及びベンフラカルブ剤(オンコルOK粒剤など)は、かんしょの農薬として登録が削除(H27.7.8予定)され、使用できなくなります。これら農薬の在庫がある場合は、登録のある他の作物で使用するようにしましょう。農薬は使用方法を守って使いましょう。